

中期目標項目(例)と長野県立大学の特徴との対比

大項目	小項目 (信州大学の例)	新県立大学基本構想等の特徴的な内容
1 中期目標の期間		
2 教育研究等の質の向上に関する事項	教育内容及び教育の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・全員参加の海外プログラム ・教養教育の充実 ⇒ 少人数教育 ・起業家精神の育成
	教育の実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次全寮制 ・大学院は設置を基本に検討
	学生への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料免除等による支援
	入学者選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習機会の提供 ・編入学は4年間は実施せず。34年度以降は検討 ・県民枠の設定
	研究水準及び研究の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県のシンクタンク機能
	研究実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀な教員・職員の確保と両者の対等な連携・協力
	社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルビジネス創出センター(仮称)の設置 ⇒ ソーシャル・イノベーション創出センター ・サテライト・ラボ(仮称)等の検討
	グローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的英語力の習得
3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	組織運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学長のリーダーシップの発揮
	教育研究組織の見直し	
	事務等の効率化・合理化	
4 財務内容の改善に関する事項	外部研究資金、寄付金その他の自己収入の増加	
	経費の抑制	
	資産の運用管理の改善	
5 自己点検・評価及び情報の提供に関する事項	評価の充実	
	情報公開や情報発信等の推進	
6 その他業務運営に関する重要事項	施設設備の整備・活用等	
	安全管理	
	法令遵守等	